



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性しよう

プログラム

- 本日
来賓卓話「裁判員制度について」
留萌簡易裁判所 判事 沖崎 政明様
- 次週予定
来賓卓話「春の交通安全月間にちなんで」
留萌警察署 交通課長 伊藤 隆裕様

会員誕生日	結婚記念日
3月24日 越野 俊興	3月21日 中川 勝美
	3月23日 高田 潔
ご夫人誕生日	3月23日 明澤 正樹
3月19日 吉田真知子	

No. 2319
第34回 3月19日



前例会

会員総数……………49名
出免会員……………3名
欠席会員……………19名
出席率……………58.70%

前々会

第31回 2月27日
欠席会員……………19名
メイクアップ……………6名
修正出席率……………71.11%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

幹事報告……………

- 1) 砂川RCより4月の例会案内が届いております。
- 2) 赤平RCより3月の例会案内が届いております。
- 3) 萌っこ春待里実行委員会より感謝状を頂きました。

会報受領先

- ・赤平RC No.2300号～No.2303号

愛好会……………

ゴルフ愛好会

大嶋代表幹事

大変遅くなりましたが、平成19年度の成績発表及び納会を平成20年度の顔合わせをかねて、

3月15日午後6時30分よりいちばんかんにて開催いたします。会費は3000円です。多数の御出席をお願いします。

3分間情報……………

会員研修委員会

河部副委員長

ロータリーとインターネットーその3ー

ロータリーのホームページについて

先週は国際ロータリー、2510地区、各クラブとの?がりについて説明しました。

今週はロータリーに関連する

※ロータリー・ジャパン・ウェブ(RJW)

(<http://www.rotary.or.jp>)

2000年5月1日にウェブサイトを公開した

ものですが、その後R Iの言語別ウェブサイトとして公認されたのは、その年の秋ごろとされています。これによって、次に示す色々な情報を手に入れることができます。

- ・ロータリーの歴史と理念
- ・ロータリー・プログラム
- ・R I会長・理事会ニュース
- ・ロータリー各種資料
- ・ロータリー財団
- ・米山記念奨学会
- ・ロータリーの友ダイジェスト版
- ・その他

※全国ロータリアンインターネット協議会 (Japan Rotarian Internet Conference) 通称J R I Cは、「ロータリー活動にもインターネットを積極的に導入し、効果的な活動を実践しよう」という目的で、1998年9月設立の任意団体です。主な活動は全会員をつなぐMLという電子メールシステムにより行われ、ロータリーに関するあらゆるものに及びます。現在全国9ブロックに分けられ、会員数362人、準会員42人です。

※ロータリーの源流

(<http://www1.odn.ne.jp>)

これは1999年5月24日に開設された、第2680地区・田中 毅パストガバナー(1996~97)のホームページで、色々なメニュー(ロータリー史、ロータリーの思考、四大奉仕各論、著作講演集、研修セミナー、炉辺談話、更新情報、ロータリー・リンク)が用意されていますが、とくにこの中の炉辺談話は毎週更新されて今日に及んでいます。

R Iは絶えず活動している組織ですから、そのホームページも常に改訂されています。データは頻繁に追加されたり、最新のものと差し替えられたりしています。

(一部「ロータリー探求」から)



ニコニコBOX.....

・この度の人事異動で四階に引っ越すことになりました
宮井会員

前 回	770,000円
今 回	1,000円
累 計	770,000円



プログラム.....

「留萌ロータリークラブ創立50周年を考える」
テーブルディスカッション発表

第1班

渡邊会員

関野会長、山本幹事、遠藤副幹事、二ノ宮例会運営委員長、鈴木職業奉仕委員長そして私、渡邊の計6名で話し合いをいたしました。

留萌ロータリークラブは2010年~2011年度に創立50周年を迎えます。創立50周年ということで、各周年の中でも半世紀の大きな節目の周年であることはもちろんであり、できるだけ盛大に、また記憶に残る周年・式典、また記念事業を行いたいのは当然ですが、いま私たちの取巻く社会状況、経済環境は非常に厳しい状況にあります。また創立40周年時に比べても会員数は約40名減少という現状です。先立つものはお金という事で言えば、いま現在創立50周年積立金が120万円ということですが、40周年時は積立金が348万円だったということですので、40周年並にということでも、あと200万円は必要ということになります。それを残る3年間でどう集めるか、また留萌ロータリークラブの前年に50周年を迎えるクラブがありますので、それらのクラブの式典・記念事業等を参考にするためにも、今年度中あるいは次年度の早めの段階での実行委員会(実行委員会準備委員会)の立ち上げが必要と考えます。

第2班 越野会員

クラブ創立50周年は大きな節目にあたりますが、今の留萌の経済状態、クラブ会員の減少等を考えると、30周年、40周年のように派手にする事は出来ません。

ただし、45周年は50周年に向けてということで取り止めているので、ある程度の事業等を計画する必要があると思います。話し合いの中で出てきた項目を並べて発表します。

- なるべく早く実行委員会を立ち上げ、現在の積立金額でよいか、また総予算等を検討することが良い。
- 記念事業等は実行委員会の中で決める事なので、ここで話し合うことはない。
- 論山クラブの会員の招待は数を限定した方が良い。30周年、40周年の時のように30名以上になると、対応が困難だと思う。
- 留萌ロータリークラブの歴史の記録である記念誌は、多少金額はかかるが作るべきである。
- 会員の積立金はあまり負担にならないように配慮すべきである。

第3班 中川会員

私達のグループは渡部会員、深瀬会員、対馬会員、大嶋会員そして私がリーダーで6名でディスカッションをいたしました。

50周年記念式典は2年後に来ますが、実行予算で企画・運営の規模で大きく変わると思います。現在の50周年記念式典の積み立て金残高、また現在の会員、及びこれから2年間の会員増強による会員負担金などは大きく期待できないと思います。

40周年記念式典の時は85名の会員がいましたので、大きな式典が出来たと思いますし、論山クラブより35名ほどの招待をする事が出来ました。しかし50周年は無理だと思われる。

規模はわかりませんが、今のところ記念式典を実施することは間違いないと思います。創立50周年の節目の記念式典となりますので大きな

記念式典は望めませんが、記憶に残る式典の企画を考えてはとの意見があり、実施するにあたり皆様よりいくつか提案がありました。

1. 来賓の招待を何処まで、また韓国論山クラブの招待人数2～3人位までか。
2. 記念講演は外部からの講演より、留萌ロータリークラブ「50周年の歩み」今までの活動をビデオ編集してナレーション付の放映はどうか。
3. 記念事業について20、30、40周年のような事業は無理だと思います。今までの記念事業で市に贈呈したものや、会員皆様もわからないものがいくつかあると思いますが、メンテナンスの必要なものもあり、一度確認が必要だと思う。またそれを50周年の記念事業の1つとして、メンテナンスはどうか、公園にある時計などもあります。
4. 最後になりますが、早く実行委員会を立ち上げて早めに企画立案を出して頂き、会員皆様と検討することを始めたらと思います。

第4班 平間会員

ディスカッション者は田中会員、行徳会員、武井会員、中出会員、西谷(恭)会員、そして私平間です。テーマ「留萌ロータリークラブ創立50周年を考える」についてお話をさせていただきましたが、内容について申しますと、

1. 創立40周年記念時は会員も多く、また経済状態も良く、盛大に実施したと記憶しています。50周年はと言うと、会員数、経済状態、更には積立金などを総合的に判断すると、「身の丈にあった…」取組みが良いのでは。
2. 過去留萌地区に来るお客様は「海の幸」を大いに満喫していることから、50周年にくるお客様もそれなりに期待しているのでは？
3. 式典は文化センター、産業会館、懇親会会場は港倉庫群など、地域の特徴を最大限活用した「留萌らしいおもてなし」を実行委員会ベースで検討していく事が寛容である。

総 評 関野会長

50周年記念式典に関しては、身の丈開催という事で集約されましたが、留萌クラブの歴史・伝統を考慮する必要があるのではないか、今後早急に検討委員会を立ち上げ意見を取りまとめたい。

記念事業、記念誌、式典、懇親会等過去の経験を活かし、現況に納得いく形で実行したい。

友好クラブ韓国論山ロータリークラブとの交流も同様と考える。

資金については、今後開催年度まで会員の協力を得て、活動計画も精査、奉仕の充実を考える。

「ロータリーの友 3月号」より

知って役立つ「ROTARY JAPAN」ホームページ情報

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

本誌欄組みP18～21に、2008～09年度国際ロータリー会長エレクト李東建氏のインタビューが、また、P22～25には、1月に開催された国際協議会のレポートを掲載しました。国際協議会では、「夢をかたちに」という新年度のテーマが発表され、また、さまざまな方針が発表されました。

「Rotary Japan」には、開会本会議から閉会晩餐会までの会議別のレポートや、日本のガバナーエレクト夫妻の様子を中心にさまざまな写真を掲載しています。本誌とあわせてご覧ください。次年度の方針を知るのに役立ちます。

